

『平成28年度を展望して』

理事長 名和康正



平成27年を振り返って

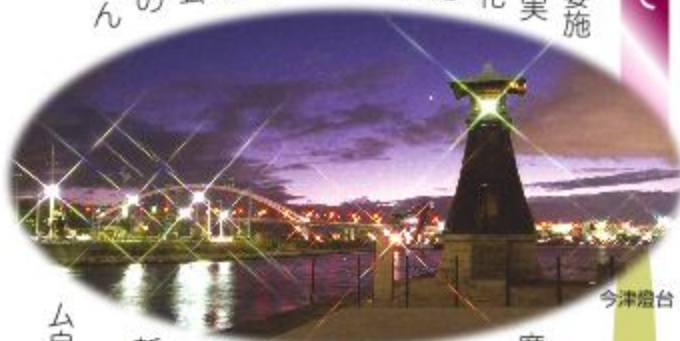
西宮市シルバー人材センターは、市内在住の60歳以上の会員2千2百人で構成される設立22年目の公益社団法人です。シルバーならではの豊富な経験と気配りにより、年間3千件を超える仕事を受注し、さまざまなボランティア活動も含めて、活力ある西宮づくりの一翼を担っています。

平成26年度から始まった第2次中期計

真の自主自立をめざして

さて、平成28年度は、国の重要施策である「一億総活躍社会」の実現に向けた新規事業が具体化する見通しです。特に、就労意欲の高い高齢者を支援するための施策が実施されることとなります。

「このような機会を十分に活かし、発注者はじめ地域の皆さまのご理解をいただきながら、会員の熱意と創意を集め、以下の基本方針を掲げて事業に取り組んでいきたいと考えています。」



今津燈台

画では、「会員の拡充と確保」、「就業先の拡大」、「安全就業の推進と健康維持」、「社会貢献活動の推進」、「組織活動の強化」の5つの基本方針を掲げ、平成27年度からは組織の見直しを行い、8つの委員会を中心に、会員主体による運営に力を注いでいます。

さらに地区活動においても、広報紙配布業務や公園パトロール業務をはじめ、会員交流活動等も活発で、最近では地区独自の取組みが始まっています。

①人材力の強化

当センターの会員数は平成25年度末を底に増加傾向をたどっていますが、市内の60歳以上の人口に占める会員数の割合は、他地区のセンターに比べ高くありません。平成29年度からは、介護保険制度の改正により、新しい介護予防・日常生活支援総合事業が始まる予定であり、女性会員の増強を目指した新たな取組みを進めます。

また、就業現場では、会員チーム自身が、発注者に満足していた

けるよう、チーム会議を開き、より一層のサービスの向上に向けた取組みを進めます。

②地区活動の活発化

広報紙配布はじめ地区活動の活発化が当センター発展の原動力であるといえます。事業推進の中核を担う委員会及び事務局と連携を図り、各地区がそれぞれの特色を活かした取組みを進めます。

③多様な就業開拓

当センターは、公共や市内事業所、ご家庭等からさまざまな仕事をいただいています。それらのご要望に幅広く応え、共に、会員一人当たりの配分金を増やすことも大きなテーマといえます。会員がそれぞれの強みを発揮し、生涯現役として活躍できるよう、就業先の拡大と独自事業の企画等に積極的に取り組めます。



④情報発信の強化

地域の皆さまへの情報発信により、当センターの活動内容をタイムリーにお伝えすることが重要になります。市政ニュースへの広告掲載やホームページ等の内容の充実を図るほか、シルバーフェアの開催、商店街での手づくりショップの展開等により、接点の拡大をめざしていきます。

会員のさまざまな活動

当センターでは、会員がそれぞれの得意技を活かした5つの独自事業活動を展開しています。
興味をお持ちの会員の皆様のご利用、講座の受講をお待ちしています。

ワンコイン英語

Let's Join NEST!

NEST(ネス)のみや イングリッシュニュース
ピーキング トリップは、「心地よい鳥の
巢」をモットーに2014年4月にスタートし、本
年春には50回になります。

中学2〜3年程度の英語を使い、「クロス
ワード、歌、旅
行会話、ニュ
ースと解説、
日本文化」や
「英語でとっ
さの一言」等
を学んでいます。
毎月第一・
四木曜日午後
2時〜4時ま
でセンター2
階・多目的室
で開催してい
ます。



会員・非会
員を問わず、
1回500円で参加できます。春と秋のレクリエ
ーション会、12月の「クリスマスお楽しみ会」
も好評です。英語から遠ざかっていた方もお
気軽に参加ください。

手作りチーム

20年の積み重ね!!!

20年前に
立ち上げた
「手作りチー
ム」。月二回
市民館に集
まり作品の
スキルアップを話し合う会員は女性17
名、男性3名。その間「ららぽーと」
で8年の実績を積み、新たな歩みへと
踏み出したのが一昨年4月。門戸神
駅前「じゅとや」で月二回出展、昨年
12月で十七回目となりました。



若いメンバーも加わり、斬新な作品が
提供され、毎
回の出会いを
楽しみにして
いただくお客
さまも増えて
きました。西
宮さくら祭り、
市民祭り、シ
ルバーフェア
に続く活動の
場が広がり、
また一歩前進。

パソコン教室

気軽にパソコンの スキルアップを

パソコン教室は201年にIT講習会とし
てスタートしました。「全会員が、パ
ソコン操作が出来るように」を目標に
現在、十数名のインストラクターが活
躍しています。

「個人レッスン」は、インストラク
ターが個人宅を訪問または受講者にセ
ンターへ来所いただき、一般的なレッ
スンのほか幅広いご要望にお応えして
います。月間50〜60件(1件2時間)
ほどの個人レッスンを実施中です。

「講座」は、センター内外で月間7〜
8講座、他
団体主催の
パソコン講
座へ講師派
遣(3か所
延べ10人)
を行ってお
ります。

今後は、
参加しやすい
場所での、
定期的に行
われる講座
を実施して
いきます。



あいつこの会

「助けあいつい、 教えあいつい」

手作りに興味の
ある人、私たち
出合ってくれませ
んか。私たちの
舞台、「シルバ
ーフェア」「市民
祭り」「さくら祭
り」に加えて昨年
末から甲子園口商店街(現
ほんわか商店街)で
の出展がスタート。
上々の滑り出しで
した。それぞれの場
が人と人の出会い
と同時に発信にも
なっていること
を感じます。



オープン初日から盛況
このまま定着することを祈りつつ成功に乾杯
甲子園口で
は今後毎月第
3週目に2日
間出展予定。
また、シルバ
ー人材センタ
ーで月1回話
し合い、作り
あいをしてい
ます。

みはらし食堂

「おいつかった」の 言葉を励みに...

夙川地区の会員
が中心となり、西
宮市社会福祉セン
ター「かぶとやま
荘」内の「みはらし
食堂」を運営して
います。



「かぶとやま荘」
は高齢者を中心と
した「日帰り保養施設」として市民の憩
いの場となっており、「みはらし食堂」
で昼食をとるのを楽しみにされている
お客様が多いそうです。

通常は厨房2名、ホール1名の体制
で対応。メニューは「おふくろの味」が
テーマ。高齢者に合わせ、味はうすく、
具材は細かく、柔らかくしていること
と、「お客様の殆どは完食されます」と
中山会員。「おいつかった」の言葉が嬉
しくて楽しく仕事をさせてもらって
います。

会員投稿コーナー



お客さまからの お褒めの言葉に感謝・感激

瓦木地区 村山 実

センターに剪定作業を依頼された町
内会の方々からの声を紹介します。
昨年秋のこと。「作業はどうでした
か」とお訊ねしたところ、「丁寧で、早
くて、何でも教えてくれて、安価でし
た」と大変嬉しい言葉が聞きました。
私は、作業をされた会員の方々に、
感謝の気持ちでいっぱいです。お体に
気を付けられて、一人でも多くの市民
に喜んでいただけるよう、よろしくお
願いします。私もご近所の皆さんに、
剪定作業はシルバードー!とPRします。

平成27年度の主なイベント

『第13回いきいきシルバーフェア』

開催に当たっては、実行委員会が計画を練り、当日は120名弱の会員のサポートがあり、日ごろお世話になっている市民や事業所の皆さんに感謝の気持ちを表すことができました。これからも、会員と同世代の方々だけでなく、若い家族連れも含めた集いの場に発展させていけるよう、内容の充実を図っていききたいと思っております。



が効を奏し、およそ2千人の来場者で賑わいました。また、会員が運営するブースに加えて、外部の方々の協力によるお茶席や飲食コーナーも加わり、バラエティーに富んだ企画となりました。



11月21日、「第13回いきいきシルバーフェア」が開催されました。今回は、市役所前の六湛寺公園に会場を移したことで、来場者の動向が不安視されましたが、天候にも恵まれ、事前のPRと当日の会場周辺でのチラシ配布

『合同清掃ボランティア』

秋の合同清掃ボランティア、今回は「ぐるり西宮クリーンアップ2015」と銘打って開催されました。10月31日、夙川公園、武庫川河川敷、国道171号線沿い、今津灯台周辺で8地区から320名が参加。12月12日には、塩瀬・山口地区会員20名が、地域の諸団体と一緒に有馬川の清掃に参加しました。

清掃ボランティアは、地区単位で実施されるものも含め、毎年活発に行われていきます。さらに当センターでは、子どもさん対象の、「工作教室」、「将棋大会」、幼児を持つお母さんが集う「びよびよサロン」等があり、多くの会員がこうした社会貢献活動に参加しています。



『研修バスツアー』

穏やかな日和に恵まれました。赤穂四十七士ゆかりの大石神社や赤穂城跡を見学の後、赤穂市シルバー人材センターの役員の方から事業活動の内容や苦労話を伺うことができました。

楽しい昼食のひとときを過ごし、午後は赤穂市立海洋科学館で製塩の歴史を学び、赤穂御崎を車窓から眺めながらの帰路ではクイズ大会にも各号車とも大いに盛り上がり、会員同士和気あいあいの時間を楽しみました。



11月30日、赤穂方面への研修バスツアーが催され、117名の会員が参加しました。晩秋ということで、気候が少し気になりましたが、汗ばむほどの

